



米軍基地の建設計画がある

沖縄の辺野古に行って来ました。日米両政府がさらに新しい基地を造ると言う計画を、辺野古の住民に無理強いしている場所です。沖縄に在日米軍の7割を押し付けているにもかかわらず、2本の滑走路を持ち、水深の深い大浦湾にせり出した部分は軍港となる可能性がある、とてつもなく大規模な基地となります。

この基地が作られたなら、劣化ウランの毒性に苦しむイラクやアフガニスタンの次の犠牲を生み出していく基地になります。米軍の侵略を受け、大勢の犠牲に悲しみ怒る国々で、また沖縄が「悪魔の島」と呼ばれてしまうのです。

そして基地は、戦場で荒みきった米兵が帰ってくる場所であり、さまざま汚染や戦闘機や戦闘ヘリの騒音をまき散らす公害の巣でもあります。

それは豊かな自然が残る 沖縄北部の海を破壊する 計画でもあります。

辺野古岬から見る景色は沖縄本島の中でもっとも美しいと言います。基地が出来ればその場所は失われ、騒音と事故の危険をまき散らす滑走路になります。その横に続く大浦湾の水深の浅い所を土砂で埋めつくせば、汚染と海水の流れの変化により、ここにしかない貝などの生物は生きていく場所を失っていくでしょう。

「辺野古に基地を絶対つくらせない！」強い声を！ いざ、第5次署名提出行動へ！

「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」は、
第5次署名提出行動を呼びかけます。ぜひ、この行動に参加してください！
辺野古に基地を絶対つくらせないための行動を共につくっていきましょう！

これまで私たちの手元に届けられた署名は、
累計で24,872筆を超えました。

そして今回は、4000筆を超える署名を大阪
防衛施設局へ提出したいと思います。

辺野古の基地建設を止めたいというみなさん
の思いは、署名活動が始まって2年以上が
たった今も決して弱まることなく、その声
が今、大きなうねりをつくりだしつつある
ことを、大阪駅前に立って私たちは感じて
います。

大阪駅前で署名をするとき、それは「小さな
一筆」であるかもしれません。しかし、それ
でも一人ひとりの本当に抱え切れない強い

こちらの要望や質問にある程度は答えざるを
得ないという態度に徐々に出てきているのも
事実です。それは、全国で、全世界で繰り上げ
られているたくさんの基地建設反対、戦争
反対の行動が、政府にとって大変な圧力であり、
大きな恐怖であることの表れなのです。

私たちが、この全国、全世界の行動の一端を
担っているならば、辺野古の基地建設計画
を完全に断念させられていない現実について、
何度この行動を続けていくのかという自責の
念に駆られながらも、さらに、大阪防衛施設局に
声をぶつけることを止めるわけにはいきま

こと、それ以外にはないと考えているのです。
確かに、この大きな力に打ち勝つことは本当
に大変なことです。

しかし、私たちは、沖縄に基地を押しつけ、
そこからイラクの人たちを、世界の人たちを
殺す戦闘機が飛び立っている現状を見たとき、
何重にも重なった差別に、人殺しに手をかして
いる者として、絶対にあきらめるわけには
いかないのです。

だからこそ、力強く、粘り強く、何度も何度も
大阪防衛施設局へみなさんから集まった意志



第一次
署名提出
行動



第二次
署名提出
行動



第三次
署名提出
行動



第四次
署名提出
行動

思いをもって、基地建設反対の意志を、その
一筆に投じてくれる人たちがたくさんいる
ことを、私たちは経験してきました。

この一筆は、もはや一つの点ではありません。
その一筆の後ろにはたくさんの思いが連なり、
一つ一つの点が線となり、面となり、確実に
日本政府を追いつめているのです。

だからこそ、大阪防衛施設局は、その対応が
まだまだ不誠実で不十分ではありながらも、

せぬ。ここに届けられた市民の声に“きちんと
答えなさい！”という追及をし続けなければ
なりません。

必ずや、基地建設を止めるのです！

日本政府は、教育基本法を変え、防衛庁を「省」
にするなどの措置を押し進める中で、この世界
の富を牛耳ろうとする米国主導のシステムの
大きな担い手となって、米軍と自衛隊の一体化、
機能強化を進める道を着実に歩み続けて
います。そしてその要を沖縄に置き続ける

をぶつけにいきます。

どうか、もっともっと大きな声が必要な
のです。私たちと一緒に声をあげてください。
辺野古に基地をつくらせないための闘いに、
第5次署名提出行動に参加してください！

日時

2007年2月16日(金) 15:00～

場所

大阪防衛施設局【大阪合同庁舎第2号館】
地下鉄谷町線「谷町四丁目」
3番出口東へ徒歩2分